

令和4年度奨学給付金(新入生に対する前倒し支給)のお知らせ

鹿児島県では、家庭の状況にかかわらず、私立高等学校等に在籍する高校生等が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯の授業料以外の教育費負担(教科書費、教材費、学用品費、PTA会費、修学旅行費等)を軽減するため、返還不要の「奨学給付金」を支給します。

前倒し給付は、この奨学給付金について、対象となる世帯で希望する新入生に対して4月～6月分相当額を前倒しで支給する制度です。希望しない場合は在校生と同じように一括の給付となります。

授業料の負担を軽減する「就学支援金制度」とは、別の制度です。

対象となる世帯は、**毎年度、申請手続が必要**ですので、忘れずに申請してください。

なお、今回申請された場合も、7月分以降の給付は7月1日を基準日として支給要件を確認するので、再度申請が必要になります。

7月分以降の給付については別途お知らせします。

1 対象となる世帯と支給額

(1) 令和4年4月1日現在において、次の①～⑤のすべてを満たす世帯

- ① 高校生等の保護者等が鹿児島県内に住所を有していること。
※県外在住の場合は、在住する都道府県にお問合せください。
- ② 高校生等が新入生であり、4月から6月分に相当する額の前倒し支給を希望すること。
- ③ 生活保護(生業扶助)受給世帯、保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税である世帯又は令和2年1月1日以降家計急変による経済的理由から保護者等全員の県民税所得割及び市町村民税所得割額のいずれも非課税世帯に相当すると認められる世帯。
- ④ 高校生等が高等学校等就学支援金の受給資格者又は学び直し支援金の支給対象者であること。
※学校の所在地は県内外を問いません。
- ⑤ 児童福祉法による見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く。)が措置されていないこと。(里親委託費を受給していないこと。)

※ 保護者等とは、保護者(親権者)、親権者が存在しない場合は未成年後見人や生徒の生計をその収入により維持している方、又は生徒本人等をいいます。

(2) 支給額は次の世帯区分に応じて、対象生徒1人へ支給

世帯区分	生活保護(生業扶助)受給世帯	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税の世帯 ※家計急変により非課税に相当すると認められる世帯も含む		
		通信制 専攻科	通信制・専攻科以外※	
			第1子	第2子以降
支給額	13,150円	13,025円	33,650円	38,000円
年額	52,600円	52,100円	134,600円	152,000円

※ 対象生徒が通信制、専攻科以外の高等学校等に在籍する場合は、世帯の構成員の状況によって支給額が異なります。詳しくは、5ページを御覧ください。

※ 前倒し給付は4～6月分相当額を支給することから、7月以降も受給の要件を満たす場合、通常支給分申請時に再度申請書を提出することで7～3月分の相当額(年額－前倒し支給額)が支給されます。

2 申請期限と申請方法

令和4年6月3日(金)までに在籍する私立高等学校等へ提出してください。

- ・ 受給認定の基準日は、令和4年4月1日となります。
- ・ 申請用紙は、鹿児島県ホームページからもダウンロードできます。

3 支給時期と支給方法

令和4年8月頃(予定)に申出のあった保護者等の口座に振り込みます。

- ・ 審査状況及び支給決定の時期によって、変更する場合があります。
- ・ 支給決定は、審査後、学校等を通じて支給決定通知書を送付します。
- ・ 授業料以外の学校徴収金と相殺するため、在籍する学校設置者に支払うことも可能です。ただし、学校設置者の了解が必要です。

4 注意事項

- 1 給付金は生徒の教育費に利用してください。
- 2 今回の支給は4月～6月分の前倒し支給となるため、7月以降の給付金については再度申請を行う必要があります。
- 3 申請書の記載と異なる事実が判明したとき、又は偽りその他の不正の手段により支給決定を受けたときは給付金を返還することとなります。

4 問い合わせ先

〒890-8577
鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県学事法制課私立学校係
TEL:099-286-2146

4 申請に必要な提出書類

(1) 生活保護(生業扶助)世帯及び非課税世帯

(ア) 申請者全員が提出する書類

書 類 名	添 付 書 類
①私立高等学校等奨学給付金受給申請書 (第1号様式)	受給申請書の記載住所が課税証明書と異なる場合、 令和4年4月1日現在の居住地が確認できる申請者の 住民票(マイナンバーの記載がないもの)を添付
②口座振込申出書(第2号様式) ※保護者等の口座に振込を希望する場合	振込先の通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種 別、口座番号、口座名義(カタカナ)の記載ページ)を 添付
②奨学給付金委任状(第3号様式) ※学校徴収金と相殺を希望する場合	

※②は、選択する支給方法により異なります。

(イ) 世帯区分に応じて必要となる添付書類

書 類 名	生活保護 (生業扶助) 受給世帯	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得 割額が非課税世帯(生活保護(生業扶助)受給世帯を除 く。)		
		通信制 専攻科	通信制・専攻科以外	
			第1子	第2子以降
③生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(様式2号) ※令和4年4月1日以降に発行されたもの ※生業扶助の受給が分かるもの ※福祉事務所等が発行する生活保護受給証明書で生業 扶助の措置状況が確認できる場合は、代用も可とする。	●			
④保護者等全員の課税証明書等 ※道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が分かるもの ※課税証明書は市役所・町村役場で発行 ※課税証明書は前年度の課税証明等(令和2年度)の提出が必要 ※鹿児島県内の私立高等学校等に在籍の場合は、高等学校等 就学支援金申請時に学校等へ提出した課税証明書等の写しで可 (学校等において複写したものでも良い。) ただし、鹿児島県外の私立高等学校等に在籍の場合は、 原本の提出が必要 ※家庭の事情により、やむを得ず保護者等全員の課税証明書等を提 出できない場合は、提出可能な保護者等の課税証明書等で可 ※保護者である両親のうち片方が扶養控除対象者である場合で あっても課税証明書等の提出の省略はできない。		●	●	●
⑤15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の 兄弟姉妹の健康保険証の写し →ただし、国民健康保険加入者は、扶養関係が 確認できないので、国民健康保険証の写しと 併せて以下の書類を提出してください。 ⑤'-1 令和4年4月1日以降に発行された 世帯全員の住民票(続柄記載有り・マイナンバー記載無し) ※兄弟姉妹が保護者等と住所が異なる場合は、当該兄弟姉 妹の住民票のみで良い。 ⑤'-2 扶養誓約書(様式3号)				●

(ウ) 申請に必要な提出書類(まとめ)

生活保護(生業扶助) 受給世帯	保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税の世帯		
	通信制・専攻科	通信制・専攻科以外	
		第1子	第2子以降
①②③	①②④	①②④	①②④⑤(⑤'-1, ⑤'-2)

※その他、家庭の状況などに応じて他に添付書類が必要となる場合があります。












(2) 家計急変世帯として申請する場合

書 類 名	添 付 書 類
①私立高等学校等奨学給付金受給申請書 (第1号様式の1)	受給申請書の記載住所が課税証明書と異なる場合、申請者の住民票(続柄の記載があり、マイナンバーの記載がないもの)を添付
②口座振込申出書(第2号様式) ※保護者等の口座に振込を希望する場合	振込先の通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(カタカナ)の記載ページ)を添付
②奨学給付金委任状(第3号様式) ※学校徴収金と相殺を希望する場合	
③家計急変の発生事由を証明する書類	離職票、雇用保険受給資格者証、解雇通知書、破産宣告通知書、廃業届出等
④家計急変前及び家計急変後の収入を証明する書類	直近の課税証明書の写し等(家計急変前)、会社作成の給与見込み、直近の給与明細、税理士又は公認会計士の作成した証明書类等
⑤保護者等の扶養親族の人数・年齢が確認できる書類	扶養親族分の健康保険証の写し、扶養親族の記載が省略されていない課税証明書等(④と併せても可)

【前倒し奨学給付金用】

参考1 世帯構成パターン図

高校生等奨学給付金（世帯構成パターン図）

●子ども一人世帯	
 【全日制等】(第1子) 私立: 33,650円	
 【全日制等】(第1子) 私立: 33,650円	 扶養されていない
●多子世帯（※扶養されている15歳以上（中学生を除く。）23歳未満の兄弟姉妹がいる世帯）	
◎ 高校生等が2人いる世帯の場合	
<div> <div>  【全日制等】(第1子) 私立: 33,650円 </div> <div>  【全日制等】(第2子以降) 私立: 38,000円 </div> </div>	
<div> <div>  【通信制・専攻科】 私立: 13,025円 </div> <div>  【全日制等】(第2子以降) 私立: 38,000円 </div> </div>	(注) 通信制の高等学校等や高等学校等専攻科に通う高校生等を含む複数の高校生がいる場合には、通信制・専攻科以外の高校生等については、給付額を増額し「第2子以降」の単価となる。
◎ 高校生等以外の子どもがいる場合	
<div>  【全日制等】(第2子以降) 私立: 38,000円 </div>	
<div> <div>  【全日制等】(第2子以降) 私立: 38,000円 </div> <div>  【全日制等】(第2子以降) 私立: 38,000円 </div> </div>	 扶養されている

別記
第1号様式

【記載例】①「私立高等学校等奨学給付金受給申請書(第1号様式)」表面

年 月 日

鹿児島県知事 殿

私立高等学校等奨学給付金受給申請書

奨学給付金の受給を申請します。
↓ 奨学給付金の支給対象となる高校生等の保護者等の氏名、住所・連絡先等を記入してください。

家計急変世帯以外
はこちらに記載し

申請区分	※全学年選択可 <input type="checkbox"/> 年額支給 (基準日 7月1日)	※新入生のみ選択可(年2回の申請が必要となります。) <input checked="" type="checkbox"/> 4月から6月相当額支給 <input type="checkbox"/> 7月から翌年3月相当額支給 (基準日 4月1日) (基準日 7月1日)
フリガナ	カゴシマ タロウ	
申請者氏名	鹿児島 太郎	高校生等との 関係(いずれ かに○印) 親権者等・未成年後見人・未成年 後見人である里親・主たる生計維 持者・生徒本人・その他 () ※親権者等とは親権者のほか高校生等が成年 年齢に達する日以前に親権者であった者を含 みます。
申請者住所・連絡先	〒 890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 【連絡先 ※昼間に連絡の付く電話番号を記入してください。】 000-000-000	

【1】奨学給付金の支給対象となる高校生等

フリガナ	カゴシマ ジロウ	生年月日	平成 18 年 5 月 1 日
氏名	鹿児島 次郎		
在学する学校	学校の名称	〇〇高等学校 〇〇科	
	学校の種類・ 課程・学科 (いずれかの□にレ点)	<input checked="" type="checkbox"/> 高等学校(全日制・定時制) <input type="checkbox"/> 高等学校(通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校(専攻科) <input type="checkbox"/> 中等教育学校(後期課程) <input type="checkbox"/> 高等専門学校(1~3学年) <input type="checkbox"/> 各種学校(外国人学校・その他) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程：昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程：昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程：通信制学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程：通信制学科)	
	学校の所在地	鹿児島 都 道 府 県 鹿児島 市 区 村 鴨池新町1234-5	
	在学期間	令和 4 年 4 月 1 日 (入学年月日) ~ 現在	
過去の高等学校等 における在学期間	学校の名称	在学期間	学校の種類・課程・学科
	〇〇県立〇〇高等学校	2019 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日	高等学校 (全日制)
	立	年 月 日 ~ 年 月 日	
	立	年 月 日 ~ 年 月 日	

【2】誓約事項

申請に当たり、以下の①及び②の内容を確認の上、□にレ点を記入してください。

① 共通
次の5点を確認の上、□にレ点を記入してください。

誓約事項をよくお読みになり、確認されたら、□にレ点を記入してください。

☒ この申請書の記載事項が事実であることを誓約する。
☒ この申請書に虚偽の記載があることを知りながら提出したことを認め、鹿児島県の求めに従い、その全額を即時返還する。
☒ 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請を行っておりません。
☒ この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。
※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。
☒ 当申請の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況等について関係する都道府県や市町村に照会し、情報提供を受けることに同意します。

② 生活保護(生業扶助)の受給状況
基準日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助の受給状況について、必ずどちらかの□にレ点を記入してください。

<input type="checkbox"/> 受給しています。 (生活保護受給証明書(生業扶助の受給が分かるもの)を添付してください。) →裏面の【3】・【4】を記入してください。	<input checked="" type="checkbox"/> 受給していません。 →裏面の【3】・【4】・【5】を記入してください。
--	--

【3】過去の受給歴

【記載例】①「私立高等学校等奨学給付金受給申請書(第1号様式)」裏面

1 表面【1】に記載している高校生等を対象とした高校生等奨学給付金の支給歴について、以下の口をレ点と記入してください。

☒ 受給したことがある。 ☐ 受給したことはありません。

2 1で受給したことがある場合は、以下の表に受給回数及び受給年度等を記入してください。

受給回数	受給年度
1回目	令和 2 年度
2回目	年度
3回目	年度
4回目	年度
5回目	年度

奨学給付金の受給回数は通算で3回です。(定時制、通信制の高等学校等に通う高校生等の場合は4回)ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の補助対象となる者については、この回数に最大2回を加えます。

※ 1人の高校生等につき、在学中に通算して3回(定時制課程又は通信制課程の場合は4回、専攻科に通う生徒は年1回、通算2回(修業年限が1年の場合は1回))を上限として支給します。
ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の支給対象者については、この回数に加えて最大2回まで支給することができます。
前倒し給付を受けた者については、4月から6月相当額と7月から翌年3月相当額の支給を合わせて1回とします。

【4】奨学給付金の支給方法

奨学給付金の支給方法について、①か②のどちらかを選択して口をレ点を記入してください。

- ① ☒ 口座振込みにより、私の口座に支給してください。
(口座振込申出書(別記第2号様式)及び通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義人が印字されたページ)を添付してください。)
- ② ☐ 支給対象となる高校生等の授業料以外の教育費と相殺するため、在学する学校設置者へ支給手続を委任します。(学校に了解を得た上で、奨学給付金委任状(別記第3号様式)を添付してください。)

【5】保護者等の収入及び扶養親族の状況

1 課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)を提出する。保護者等について、該当する口をレ点を記入してください。

(①～⑤にレ点を付けた保護者等全員の課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)を添付してください。なお、④又は⑤に該当するときは別紙「記入上の注意」3 ロを確認してください。)

課税証明書等を提出する保護者等		事 例
①	<input checked="" type="checkbox"/> 親権者等(2人)	・両親
②	<input type="checkbox"/> 親権者(1人) 親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。	・離婚、死別等により親権者が1人の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人()人分 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
④	<input type="checkbox"/> 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(1人)	・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/> 生徒本人	・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

2 基準日現在、保護者等に通信制以外の高等学校等に通う表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合には、以下に記入してください。

15歳以上23歳未満の兄弟姉妹	続柄	氏名	生年月日	居住する都道府県	職業	学 校		当該奨学給付金の申請有無	備考
						学校名・学年	課程		
	姉	鹿児島 梅子	H.O. O. O	鹿児島県	学生	〇〇大学 (2年)	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
							<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
							<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
							<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

令和4年4月1日現在、表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合に、その兄弟姉妹について記入してください。

※続柄欄は、支給対象となる高校生等からみた続柄(兄、弟、姉、妹)を記入してください。

(当該兄弟姉妹の健康保険証の写しを添付してください。なお、健康保険証が国民健康保険証の場合は、国民健康保険証の写し、世帯全員の住民票(マイナンバーを記載していないもの)及び扶養誓約書(様式2号)を添付してください。)

別記

第1号様式の1 (第5)

【記載例】①「私立高等学校等奨学給付金受給申請書(第1号様式の1)」表

鹿児島県知事

殿

私立高等学校等奨学給付金受給申請書(家計急変世帯)

奨学給付金の受給を申請します。

↓ 奨学給付金の支給対象となる高校生等の保護者等の氏名、住所・連絡先等を記入してください。

家計急変はこちら

フリガナ	カゴシマ タロウ	高校生等との関係(いずれかに○印)	親権者等・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人・その他() ※親権者等とは親権者のほか高校生等が成年年齢に達する日以前に親権者であった者を含みます。
申請者氏名	鹿児島 太郎		
申請者住所・連絡先	〒 890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 【連絡先 ※昼間に連絡の付く電話番号を記入してください。】 000-000-000		

【1】奨学給付金の支給対象となる高校生等

フリガナ	カゴシマ ジロウ	生年月日	平成 18 年 5 月 1 日
氏名	鹿児島 次郎		
在学する学校	学校の名称	〇〇高等学校 〇〇科	
	学校の種類・課程・学科 (いずれかの□にレ点)	<input checked="" type="checkbox"/> 高等学校(全日制・定時制) <input type="checkbox"/> 高等学校(通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校(専攻科) <input type="checkbox"/> 中等教育学校(後期課程) <input type="checkbox"/> 高等専門学校(1~3学年) <input type="checkbox"/> 各種学校(外国学校・その他) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程: 昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程: 昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程: 通信制学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程: 通信制学科)	
	学校の所在地	鹿児島 都道府県 鹿児島 市区町村 鴨池新町1234-5	
	在学期間	令和 4 年 4 月 1 日 (入学年月日) ~ 現在	
過去の高等学校等における在学期間	学校の名称	在学期間	学校の種類・課程・学科
	〇〇県立〇〇高等学校	2019 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日	高等学校(全日制)
	立	年 月 日 ~ 年 月 日	
	立	年 月 日 ~ 年 月 日	

【2】誓約事項

申請に当たり、以下の①及び②の内容を確認の上、□にレ点を記入してください。

次の6点を確認の上、□にレ点を記入してください。

- ☒ この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ☒ この申請書に虚偽の記載又は記載内容が不明確な点がある場合、その全額を即時返還します。
- ☒ 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等として在学している。
- ☒ この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法第82条第1項第2号又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く。)の支弁対象ではありません。
- ※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。
- ☒ 当申請の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況等について関係する都道府県や市町村に照会し、情報提供を受けることに同意します。
- ☒ 当申請後に年収見込額の変更があった場合は、速やかに鹿児島県へ報告し、同県の求めに従うことを同意します。

誓約事項をよくお読みになり、確認されたら、□にレ点を記入してください。

【3】過去の受給歴

【記載例】①「私立高等学校等奨学給付金受給申請書(第1号様式の1)」裏

1 表面【1】に記載している高校記入してください。

☒ 受給したことがある。 ☐ 受給したことはありません。

2 1で受給したことがある場合は、以下の表に受給回数及び受給年度等を記入してください。

受給回数	受給年度
1 回目	令和 2 年度
2 回目	年度
3 回目	年度
4 回目	年度
5 回目	年度

奨学給付金の受給回数は通算で3回です。(定時制、通信制の高等学校等に通う高校生等の場合は4回)ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の補助対象となる者については、この回数に最大2回を加えます。

※ 1人の高校生等につき、在学中に通算して1回(修業年限が1年の場合は1回)を上限として支給します。
ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の支給対象者については、この回数に加えて最大2回まで支給することができます。
前倒し給付を受けた者については、4月から6月相当額と7月から翌年3月相当額の支給を合わせて1回とします。

【4】奨学給付金の支給方法

奨学給付金の支給方法について、①か②のどちらかを選択して□にレ点を記入してください。

① ☒ 口座振込により、私の口座に支給してください。
(口座振込申出書(別記第2号様式)及び通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座義人が印字されたページ)を添付してください。)

② ☐ 支給対象となる高校生等の授業料以外の教育費と相殺するため、在学する学校設置者へ支給手続を委任します。(学校に了解を得た上で、奨学給付金委任状(別記第3号様式)を添付してください。)

【5】保護者等の収入及び扶養親族の状況

1 課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)及び家計急変の状況が確認できる書類を提出する。
保護者等について、該当する□にレ点を記入してください。

(①～⑤にレ点を付けた保護者等全員の課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)及び家計急変の状況が確認できる書類を添付してください。なお、④又は⑤に該当するときは別紙「記入上の注意」3 ロを確認してください。)

課税証明書等を提出する保護者等		事 例
① <input checked="" type="checkbox"/>	親権者等(2人)	・両親
② <input type="checkbox"/>	親権者(1人) 親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。	・離婚、死別等により親権者が1人の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③ <input type="checkbox"/>	未成年後見人()人分 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
④ <input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(1人)	・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤ <input type="checkbox"/>	生徒本人	・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

2 次の理由により家計急変が生じており、それを証明する書類を提出します。

世帯年収見込み	家計急変前	家計急変後
	5,000,000円	2,000,000円
家計急変理由	(家計急変の年月日令和 4 年 1 月 20 日) 新型コロナウイルス感染症に起因する失職	

※ 家計急変前の世帯年収見込みについては、課税証明書等に記載されている給与収入を記入してください。

※ 家計急変後の世帯年収見込みについては、給与明細書等により家計急変後1年間の年収見込みを推計し、記入してください。

3 申請の翌月(家計が急変した日が申請のあった月の1日の場合は、申請のあった月)の1日において、保護者等に通信制以外の高等学校等に通う表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)がいる場合には、以下に記入してください。

続柄	氏名	生年月日	居住する都道府県	職業	学校名・学年	課程	当該奨学給付金の申請有無	備考
15歳以上	姉 鹿兒島 梅子	H.O.O.O	鹿兒島県	学生	〇〇大学 (2年)	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input checked="" type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
23歳未満の兄弟姉妹						<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

令和4年4月1日現在、表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合に、その兄弟姉妹について記入してください。

※続柄欄は、支給対象となる高校生等からみた続柄(兄、姉、妹)を記入してください。

(当該兄弟姉妹の健康保険証の写しを添付してください。なお、健康保険証が国民健康保険証の場合は、国民健康保険証の写し、世帯全員の住民票(マイナンバーを記載していないもの)及び扶養誓約書(様式2号)を添付してください。)

【記載例】②「口座振込申出書(第2号様式)」

口座振込申出書

令和*年**月**日

鹿児島県知事 殿

保護者等の口座へ振り込みを希望する場合は、こちらの用紙に記入してください。

申請者住所 鹿児島市鴨池新町10-1

※ 奨学給付金受給申請者の住所と同一

申請者氏名 鹿児島 太郎

※ 奨学給付金受給申請者の氏名と同一

私に対する奨学給付金の支払いについては、下記口座に振り込まれるよう申し出ます。

記

添付する「通帳の写し」を確認しながら、記入してください。

※ 通帳の写しを必ず添付してください。

金融機関名	●●●●	銀行・労金・信金 信組・相信・農協
-------	------	----------------------

※ 郵便局はゆうちょ銀行です。

本・支店名	●●●	本店・支店 支所 その他【 】
-------	-----	--------------------

預金種別	普通・当座
------	-------

※ 貯蓄預金口座への振込はできません。

口座番号	1 2 3 4 5 6 7
------	---------------

口座名義 (カタカナ)	加藤 知
----------------	------

※ 通帳裏面等に記載のカタカナ名義を記入してください。

※ 通帳名義は申請者(保護者等)名義となります。

※ 振込が完了するまでは、振込先口座の名義変更、解約及び支店変更等は極力お控えください。

なお、振込先口座の名義変更、解約及び支店変更等をされた場合は、速やかに学校を通じて御連絡ください。

※ 通帳の写しは、金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(カタカナ)の記載されているページの写しを添付してください(記載内容が鮮明で判読可能なものを提出すること。)

提出書類 ②「口座振込申出書（第2号様式）」に添付する通帳の写しの例

金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義の記載されている
ページの写しを添付してください。

[illegible]

【記載例】②「口座振込申出書(第2号様式)」

口座振込申出書

令和*年**月**日

鹿児島県知事 殿

保護者等の口座へ振り込みを希望する場合は、こちらの用紙に記入してください。

申請者住所 鹿児島市鴨池新町10-1

※ 奨学給付金受給申請者の住所と同一

申請者氏名 鹿児島 太郎

※ 奨学給付金受給申請者の氏名と同一

私に対する奨学給付金の支払いについては、下記口座に振り込まれるよう申し出ます。

記

添付する「通帳の写し」を確認しながら、記入してください。

※ 通帳の写しを必ず添付してください。

金融機関名	ゆうちょ	銀行・労金・信金 信組・相信・農協
-------	------	----------------------

※ 郵便局はゆうちょ銀行です。

本・支店名	●●●	本店・支店 支所 その他【 】
-------	-----	--------------------

預金種別	普通・当座
------	-------

※ 貯蓄預金口座への振込はできません。

口座番号	1234567
------	---------

口座名義 (カタカナ)	カシタ タカ
----------------	--------

※ 通帳裏面等に記載のカタカナ名義を記入してください。

※ 通帳名義は申請者(保護者等)名義となります。

※ 振込が完了するまでは、振込先口座の名義変更、解約及び支店変更等は極力お控えください。

なお、振込先口座の名義変更、解約及び支店変更等をされた場合は、速やかに学校を通じて御連絡ください。

※ 通帳の写しは、金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(カタカナ)の記載されているページの写しを添付してください(記載内容が鮮明で判読可能なものを提出すること。)

提出書類 ②「口座振込申出書（第2号様式）」に添付する通帳の写しの例

金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義の記載されているページの写しを添付してください。

記号	番号
おなまえ	加シマタロウ 様
おとこあ	(郵便番号)

●●●●銀行

印紙を貼る場所
ここに貼る
郵便番号

この口座を他金融機関からの振込の受取口座として利用される際、
次の内容をご指定ください。

【店名】●●●●
【店番】●●●●【預金種別】普通預金【口座番号】1234567

【記載例】②「奨学給付金委任状（第3号様式）」

令和*年**月**日

鹿児島県知事 殿

奨学給付金委任状

学校徴収金と相殺を希望する場合（学校設置者の了解が必要）は、こちらの用紙に記入してください。

申請者住所	鹿児島市鵜池新町10-1
申請者氏名	鹿児島 次郎
生徒氏名	鹿児島 三郎
学校名	〇〇高等学校

私が支給を受ける奨学給付金は、生徒の授業料以外の教育費に係る債権の全部又は一部と相殺するため、学校設置者が代理受領することに同意します。
また、このために必要な奨学給付金の支給に関する事務手続（請求・受領・相殺等）を学校設置者に委任することを了承します。

記

- 1 相殺する学校徴収金等
- (1) 学校徴収金（学年・学級費、実習費、修学旅行費等）
 - (2) 諸会費（PTA会費、生徒会費等）

相殺後に余剰金が出た場合の支給方法を選択してください。

- 2 余剰金の支給方法
- 相殺後に余剰が出た場合は、以下の方法により支給してください。

①か②のどちらかを選択して口に入点を記入してください。											
① <input checked="" type="checkbox"/>	現金により支給してください。										
② <input type="checkbox"/>	<p>口座振込により私の口座へ支給してください。</p> <p>【振込先】 ※振込手数料の取扱いについては、学校側に確認してください。</p> <table><tr><td>金融機関名</td><td>銀行・労金・信金 信組・相信・農協</td></tr><tr><td>本・支店名</td><td>本店・支店・支所 その他【 】</td></tr><tr><td>口座種別</td><td>普通 ・ 当座</td></tr><tr><td>口座番号</td><td></td></tr><tr><td>口座名義（カタカナ）</td><td></td></tr></table>	金融機関名	銀行・労金・信金 信組・相信・農協	本・支店名	本店・支店・支所 その他【 】	口座種別	普通 ・ 当座	口座番号		口座名義（カタカナ）	
金融機関名	銀行・労金・信金 信組・相信・農協										
本・支店名	本店・支店・支所 その他【 】										
口座種別	普通 ・ 当座										
口座番号											
口座名義（カタカナ）											

【記載例】③「生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書」

鹿児島県知事 殿

(市の福祉事務所長又は県の出先機関の長) 印

生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

下記の世帯が、令和〇年□月△日現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

記

世帯主氏名 鹿児島 太郎	住所 〒890-1111 鹿児島市〇〇町〇-〇		
世帯員氏名			
氏 名	続柄	生年月日	保護開始年月日
鹿児島 花子	妻	昭和51年1月1日生	平成20年5月30日
鹿児島 一郎	長男	平成14年1月1日生	平成20年5月30日
福祉事務所等発行する生活保護受給証明書により生業扶助の措置状況が確認できる場合は、代用が可能です。			
証明書の使用目的 奨学のための給付金の受給手続きのため			
備考			

鹿児島県知事 殿

申請者住所 鹿児島市鴨池新町10-1

申請者氏名 鹿児島 太郎

扶 養 誓 約 書

支給対象となる高校生等以外に、私が主として下記の者を扶養していることを誓約します。

続柄欄は、申請する保護者等を基準として記入してください。

氏 名	続柄	住 所	生年月日	職業又は 就学状況
鹿児島 梅子	長女	鹿児島市鴨池新町10-1	H**年**月**日	大学2年

(注)続柄欄は、申請する保護者等を基準として記入してください。

この扶養誓約書は、対象となる高校生等以外に保護者等に扶養されている15歳(中学生を除く。)以上23歳未満(平成11年4月3日～平成18年4月2日に生まれた者)の兄弟姉妹について、健康保険証の写しなどで扶養を確認できない場合に提出してください。

なお、この場合、扶養誓約書のほかに世帯全員の住民票(続柄記載有り・マイナンバー記載無しのもの)も併せて添付してください。

《健康保険証の写しなどで扶養を確認できない場合》

- ・健康保険証が国民健康保険証の場合(個人単位で加入することから、扶養関係を確認できないため)
- ・健康保険に未加入の場合
- ・その他公的な証明書がない場合

《世帯全員の住民票(続柄記載有り・マイナンバー記載無しのもの)》

- ・兄弟姉妹が保護者等と住所が異なる場合は、当該兄弟姉妹の住民票のみで良い。

申請書等様式

- ①「私立高等学校等奨学給付金受給申請書（第１号様式）」
- ②「私立高等学校等奨学給付金受給申請書（第１号様式の１）」
- ③「口座振込申出書（第２号様式）」
- ④「奨学給付金委任状（第３号様式）」
- ⑤「生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書（様式２号）」
- ⑥「扶養誓約書（様式３号）」

別記

第1号様式（第5条関係）

鹿児島県知事 殿

年 月 日

私立高等学校等奨学給付金受給申請書

奨学給付金の受給を申請します。

↓ 奨学給付金の支給対象となる高校生等の保護者等の氏名、住所・連絡先等を記入してください。

申請区分	※全学年選択可 <input type="checkbox"/> 年額支給 (基準日 7月1日)	※新入生のみ選択可(年2回の申請が必要となります。) <input type="checkbox"/> 4月から6月相当額支給 <input type="checkbox"/> 7月から翌年3月相当額支給 (基準日 4月1日) (基準日 7月1日)	
フリガナ			
申請者氏名		高校生等との 関係(いずれ かに○印)	親権者等・未成年後見人・未成年後 見人である里親・主たる生計維持 者・生徒本人・その他() ※親権者等とは親権者のほか高校生等が成年年 齢に達する日以前に親権者であった者を含みま す。
申請者住所・連絡先	〒 【連絡先 ※昼間に連絡の付く電話番号を記入してください。】 — —		

【1】奨学給付金の支給対象となる高校生等

フリガナ			生年月日	年 月 日
氏名				
在学 する 学校	学校の名称			
	学校の種類・ 課程・学科 (いずれかの□にレ点)	<input type="checkbox"/> 高等学校(全日制・定時制) <input type="checkbox"/> 高等学校(通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校(専攻科) <input type="checkbox"/> 中等教育学校(後期課程) <input type="checkbox"/> 高等専門学校(1～3学年) <input type="checkbox"/> 各種学校(外国人学校・その他) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程:昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程:昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程:通信制学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程:通信制学科)		
	学校の所在地	都道府県 市区町村		
	在学期間	年 月 日(入学年月日) ～ 現在		
	過去の高等学校等 における在学期間	学校の名称	在学期間	学校の種類・課程・学科
	立	年 月 日 ～ 年 月 日		
	立	年 月 日 ～ 年 月 日		
	立	年 月 日 ～ 年 月 日		

【2】誓約事項

申請に当たり、以下の①及び②の内容を確認の上、□にレ点を記入してください。

① 共通

次の5点を確認の上、□にレ点を記入してください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載又は記載と異なる事実が判明した場合は鹿児島県の求めに従い、その全額を即時返還します。

☐ 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請を行っておりません。

☐ この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く。））の支弁対象ではありません。

※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。

☐ 当申請の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況等について関係する都道府県や市町村に照会し、情報提供を受けることに同意します。

② 生活保護（生業扶助）の受給状況

基準日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助の受給状況について、必ずどちらかの□にレ点を記入してください。

<input type="checkbox"/> 受給しています。 (生活保護受給証明書(生業扶助の受給が 分かるもの)を添付してください。) →裏面の【3】・【4】を記入してください。	<input type="checkbox"/> 受給していません。 →裏面の【3】・【4】・【5】を記入してください。
--	---

【3】過去の受給歴

1 表面【1】に記載している高校生等を対象とした高校生等奨学給付金の受給歴について、どちらかの□にレ点を記入してください。

☐ 受給したことがある。 ☐ 受給したことはありません。

2 1で受給したことがある場合は、以下の表に受給回数及び受給年度等を記入してください。

受給回数	受給年度	受給時に在学していた高等学校等の名称	学年	支給都道府県
1回目	年度			
2回目	年度			
3回目	年度			
4回目	年度			
5回目	年度			

※ 1人の高校生等につき、在学中に通算して3回(定時制課程又は通信制課程の場合は4回、専攻科に通う生徒は年1回、通算2回(修業年限が1年の場合は1回))を上限として支給します。

ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の支給対象者については、この回数に加えて最大2回まで支給することができます。

前倒し給付を受けた者については、4月から6月相当額と7月から翌年3月相当額の支給を合わせて1回とします。

【4】奨学給付金の支給方法

奨学給付金の支給方法について、①か②のどちらかを選択して□にレ点を記入してください。

- ① ☐ □ 口座振込みにより、私の口座に支給してください。
(口座振込申出書(別記第2号様式)及び通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義人が印字されたページ)を添付してください。)
- ② ☐ □ 支給対象となる高校生等の授業料以外の教育費と相殺するため、在学する学校設置者へ支給手続を委任します。(学校に了解を得た上で、奨学給付金委任状(別記第3号様式)を添付してください。)

【5】保護者等の収入及び扶養親族の状況

1 課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)を提出する。保護者等について、該当する□にレ点を記入してください。

(①～⑤)にレ点を付けた保護者等全員の課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)を添付してください。なお、④又は⑤に該当するときは別紙「記入上の注意」3.ロを確認してください。)

課税証明書等を提出する保護者等		事 例
①	<input type="checkbox"/> 親権者等(2人)	・両親
②	<input type="checkbox"/> 親権者(1人) 親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。	・離婚、死別等により親権者が1人の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③	<input type="checkbox"/> 未成年後見人()人分 未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
④	<input type="checkbox"/> 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(1人)	・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/> 生徒本人	・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐ 所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で道府県民税所得割及び市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

2 基準日現在、保護者等に通信制以外の高等学校等に通う表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合には、以下に記入してください。

15歳以上23歳未満の兄弟姉妹	続柄	氏名	生年月日	居住する都道府県	職業	学 校		当該奨学給付金の申請有無	備考
						学校名・学年	課 程		
						() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
						() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
						() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
						() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
						() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

※続柄欄は、支給対象となる高校生等からみた続柄(兄、弟、姉、妹)を記入してください。

(当該兄弟姉妹の健康保険証の写しを添付してください。なお、健康保険証が国民健康保険証の場合は、国民健康保険証の写し、世帯全員の住民票(マイナンバーを記載していないもの)及び扶養誓約書(様式2号)を添付してください。)

別記

第1号様式の1(第5条関係)

年 月 日

鹿児島県知事 殿

私立高等学校等奨学給付金受給申請書(家計急変世帯)

奨学給付金の受給を申請します。

↓ 奨学給付金の支給対象となる高校生等の保護者等の氏名、住所・連絡先等を記入してください。

フリガナ			親権者等・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人・その他() ※親権者等とは親権者のほか高校生等が成年年齢に達する日以前に親権者であった者を含みます。
申請者氏名		高校生等との関係(いずれかに○印)	
申請者住所・連絡先	〒 【連絡先 ※昼間に連絡の付く電話番号を記入してください。】 — —		

【1】奨学給付金の支給対象となる高校生等

フリガナ		生年月日	年 月 日
氏名			
在学する学校	学校の名称		
	学校の種類・課程・学科 (いずれかの□にレ点)	<input type="checkbox"/> 高等学校(全日制・定時制) <input type="checkbox"/> 高等学校(通信制) <input type="checkbox"/> 高等学校(専攻科) <input type="checkbox"/> 中等教育学校(後期課程) <input type="checkbox"/> 高等専門学校(1～3学年) <input type="checkbox"/> 各種学校(外国入学校・その他) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程:昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程:昼間・夜間等学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(高等課程:通信制学科) <input type="checkbox"/> 専修学校(一般課程:通信制学科)	
	学校の所在地	都道府県 市区町村	
	在学期間	年 月 日(入学年月日) ～ 現在	
	過去の高等学校等における在学期間	学校の名称	在学期間
	立	～ 年 月 日	
	立	～ 年 月 日	
	立	～ 年 月 日	

【2】誓約事項

申請に当たり、以下の①及び②の内容を確認の上、□にレ点を記入してください。

次の6点を確認の上、□にレ点を記入してください。

☐ この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。

☐ この申請書に虚偽の記載又は記載と異なる事実が判明した場合は鹿児島県の求めに従い、その全額を即時返還します。

☐ 私は鹿児島県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請を行っておりません。

☐ この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く。))の支弁対象ではありません。
※ 児童入所施設措置費の支弁対象となる高校生等には、里親委託費を受給している世帯に扶養されている高校生等を含みます。

☐ 当申請の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無や所得状況、生活保護の受給状況等について関係する都道府県や市町村に照会し、情報提供を受けることに同意します。

☐ 当申請後に年収見込額の変更があった場合は、速やかに鹿児島県へ報告し、同県の求めに従うことを同意します。

【3】過去の受給歴

1 表面【1】に記載している高校生等を対象とした高校生等奨学給付金の受給歴について、どちらかの□にレ点を記入してください。

☐ 受給したことがある。 ☐ 受給したことはありません。

2 1で受給したことがある場合は、以下の表に受給回数及び受給年度等を記入してください。

受給回数	受給年度	受給時に在学していた高等学校等の名称	学年	支給都道府県
1回目	年度			
2回目	年度			
3回目	年度			
4回目	年度			
5回目	年度			

※ 1人の高校生等につき、在学中に通算して3回(定時制課程又は通信制課程の場合は4回、専攻科に通う生徒は年1回、通算2回(修業年限が1年の場合は1回))を上限として支給します。
ただし、高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)の支給対象者については、この回数に加えて最大2回まで支給することができます。
前倒し給付を受けた者については、4月から6月相当額と7月から翌年3月相当額の支給を合わせて1回とします。

【4】奨学給付金の支給方法

奨学給付金の支給方法について、①か②のどちらかを選択して□にレ点を記入してください。

- ① ☐ □ 口座振込みにより、私の口座に支給してください。
(口座振込申出書(別記第2号様式)及び通帳の写し(金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義人が印字されたページ)を添付してください。)
- ② ☐ □ 支給対象となる高校生等の授業料以外の教育費と相殺するため、在学する学校設置者へ支給手続を委任します。(学校に了解を得た上で、奨学給付金委任状(別記第3号様式)を添付してください。)

【5】保護者等の収入及び扶養親族の状況

1 課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)及び家計急変の状況が確認できる書類を提出する。
保護者等について、該当する□にレ点を記入してください。
(①～⑤にレ点を付けた保護者等全員の課税証明書等(道府県民税所得割及び市町村民税所得割額が非課税であることを証明するもの)及び家計急変の状況が確認できる書類を添付してください。なお、④又は⑤に該当するときは別紙「記入上の注意」3.ロを確認してください。)

課税証明書等を提出する保護者等		事 例
① <input type="checkbox"/> □ 親権者等(2人)		・両親
② <input type="checkbox"/> □ 親権者(1人)	親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。	・離婚、死別等により親権者が1人の場合 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合 等
③ <input type="checkbox"/> □ 未成年後見人()人分	未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。	・親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)
④ <input type="checkbox"/> □ 生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)(1人)		・親権者又は未成年後見人が存在しない場合 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤ <input type="checkbox"/> □ 生徒本人		・親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

2 次の理由により家計急変が生じており、それを証明する書類を提出します。

世帯年収 見込み	家計急変前	家計急変後
家計急変理由	(家計急変の年月日: 年 月 日)	

※ 家計急変前の世帯年収見込みについては、課税証明書等に記載されている給与収入を記入してください。
※ 家計急変後の世帯年収見込みについては、給与明細書等により家計急変後1年間の年収見込みを推計し、記入してください。

3 申請の翌月(家計が急変した日が申請のあった月の1日の場合は、申請のあった月)の1日において、保護者等に通信制以外の高等学校等に通う表面【1】の高校生等以外に15歳(中学生を除く。)がいる場合には、以下に記入してください。

続柄	氏名	生年月日	居住する 都道府県	職業	学 校		当該奨学給付 金の申請有無	備考
					学校名・学年	課程		
15歳以上					() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
23歳未満の兄弟姉妹					() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
					() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
					() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
					() 年	<input type="checkbox"/> 通信制 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> その他(全日、定時)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

※続柄欄は、支給対象となる高校生等からみた続柄(兄、弟、姉、妹)を記入してください。
(当該兄弟姉妹の健康保険証の写しを添付してください。なお、健康保険証が国民健康保険証の場合は、国民健康保険証の写し、世帯全員の住民票(マイナンバーを記載していないもの)及び扶養誓約書(様式2号)を添付してください。)

記入上の注意

各項目の記入方法及び留意事項です。確認の上、記入してください。

1 「申請者」欄について

- イ 申請者は、鹿児島県内に住民票を有する保護者等です。
- ロ 保護者とは、親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいい、次の①～⑤は除きます。
 ①児童福祉法第33条の2第1項、第33条の8第2項又は第47条第2項の規定により親権を行う児童相談所長
 ②児童福祉法第47条第1項の規定により親権を行う児童福祉施設の長
 ③法人である未成年後見人
 ④民法第857条の2第2項に規定する財産に関する権限のみを行使すべきこととされた未成年後見人
 ⑤その他生徒の就学に要する経費の負担を求めることが困難と認められる保護者
- ハ 保護者等の一方が県外に住民票を有している場合、他方の保護者が該当都道府県に対し給付金の申請を行わないと誓約する場合に限り、申請を受け付けます。

2 「【1】奨学給付金の支給対象となる高校生等」欄について

- イ 現在通っている学校、過去に在籍した学校について、必要事項を記入してください。
- ロ 「高等学校等」とは、私立の高等学校（専攻科を含む。）、中等教育学校の後期課程（専攻科を含む。）、高等専門学校（第1学年から第3学年まで）、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるものをいい、

3 「【5】保護者等の収入及び扶養親族の状況」欄について

- イ 1②に該当するときは、必ず「親権者」全員の状況を確認の上、記入してください。
 1②の「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合」とは、例えば、ドメスティックバイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します。この「家庭の事情によりやむを得ず、親権者の課税証明書等を提出できない場合」は、1④及び⑤並びに課税証明書を提出しない場合の「親権者が存在しない場合」
- ロ 1④又は⑤に該当するときは、生徒本人又は主として生徒の生計をその収入により維持している者（医療保険各法（注）における扶養者等）の所得に関する書類を添付してください。また、主として生徒の生計をその収入により維持する者がいるかどうかについて確認できる書類（健康保険証等の写し等）を添付してください。
 （注）医療保険各法とは、健康保険法、船員保険法、国民健康保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は私立学校教職員共済法をいう。

留意事項

- イ 過去に国公私立を問わず高等学校等（修業年限が3年未満のものを除く。）又は高等学校等専攻科を卒業し又は修了したことがある場合には、奨学給付金の受給資格はありません。
- ロ 2校以上の学校に在学している場合は、いずれか1校を選んで申請をしてください。
- ハ 不正に奨学給付金を受給した場合は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の規定に基づき、刑罰が科されることがあります。

口座振込申出書

年 月 日

鹿児島県知事 殿

申請者住所 _____
※ 奨学給付金受給申請者の住所と同一

申請者氏名 _____
※ 奨学給付金受給申請者の氏名と同一

私に対する奨学給付金の支払いについては、下記口座に振り込まれるよう申し出ます。

記

※ 通帳の写しを必ず添付してください。

金融機関名	銀行・労金・信金 信組・相信・農協
-------	----------------------

※ 郵便局はゆうちょ銀行です。

本・支店名	本店・支店・支所 その他【 】
-------	-------------------------

預金種別	普通 ・ 当座
------	-------------------

※ 貯蓄預金口座への振込はできません。

口座番号	
------	--

口座名義 (カタカナ)	
----------------	--

※ 通帳裏面等に記載のカタカナ名義を記入してください。

※ 通帳名義は申請者（保護者等）名義となります。

※ 振込ができなくなりますので、口座の名義変更、解約及び支店変更等は入金を確認するまでは行わないでください。

なお、振込先口座の名義変更、解約及び支店変更等をされた場合は、速やかに学校を通じて御連絡ください。

※ 通帳の写しは、金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義(カタカナ)の記載されているページの写しを添付してください（記載内容が鮮明で判読可能なものを提出すること。）。

年 月 日

鹿児島県知事 殿

奨学給付金委任状

申請者住所

申請者氏名

生徒氏名

学 校 名

私が支給を受ける奨学給付金は，生徒の授業料以外の教育費に係る債権の全部又は一部と相殺するため，学校設置者が代理受領することに同意します。
また，このために必要な奨学給付金の支給に関する事務手続（請求・受領・相殺等）を学校設置者に委任することを了承します。

記

- 1 相殺する学校徴収金等
- (1) 学校徴収金（学年・学級費，実習費，修学旅行費等）
- (2) 諸会費（PTA会費，生徒会費等）

- 2 余剰金の支給方法
- 相殺後に余剰が出た場合は，以下の方法により支給してください。

①か②のどちらかを選択して□にレ点を記入してください。	
① □	現金により支給してください。
② □	<div>口座振込により私の口座へ支給してください。</div> <div>【振込先】 ※振込手数料の取扱いについては，学校側に確認してください。</div> <div>金融機関名 銀行・労金・信金 信組・相信・農協</div> <div>本・支店名 本店・支店・支所 その他【 】</div> <div>口座種別 普通 ・ 当座</div> <div>口座番号</div> <div>口座名義（カタナ）</div>

鹿児島県知事 殿

(市の福祉事務所長又は県の出先機関の長) 印

生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による
生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書

下記の世帯が、 年 月 日（基準日）現在、生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による「生業扶助（高等学校等就学費）」の受給中であることを証明する。

記

世帯主氏名	住所			
世帯員氏名				
氏 名	続柄	生年月日	保護開始年月日	
証明書の使用目的				
備考				

年 月 日

鹿児島県知事 殿

申請者住所 _____

申請者氏名 _____

扶 養 誓 約 書

支給対象となる高校生等以外に、私が主として下記の者を扶養していることを誓約します。

記

氏 名	続柄	住 所	生年月日	職業又は 就学状況

(注)続柄欄は、申請者(保護者等)を基準として記入してください。